

事務事業	14034	学校総合学習事業	担当課	学校教育課	担当係	学校教育係
計後 画期 体計 系画	施策	06 子どもが生き活きと学び、生きる力を育むまちをつくる	予 算 科 目	会 計 款 項 目	1 10 02 2	一般会計 教育費 02小学校費、03中学校費 教育振興費
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H14 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
児童生徒が自ら学び・考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育て、自己の生き方を考えることができるようにするため、総合的な学習の時間などで様々な講師を招聘する事業。 ・米作り ・手話、点字 ・本の読み聞かせ ・よさこい踊り ・外国の文化 ・しめ縄づくり ・平和学習 ・造形教室 ・実験教室 ・手芸 ・短歌 ・太鼓 ・おり紙 ・工芸 ・地域探索 ・茶道 ・料理教室 ・囲碁、将棋 ・グラウンドゴルフ ・福祉体験 ・職業体験等の講演、講座を実施。		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		
講師への謝金支払事務		
		講師謝礼金
		318 千円
		千円
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 各学校で講師の選考・派遣手続き及び謝金の支払いを行う。	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
		指標数値					
		名称	単位	29年度	30年度	31年度	
		ア 総合学習授業回数(小学校)	回	3,500	2,360	3,000 (見込)	
		イ 総合学習授業回数(中学校)	回	380	380	380 (見込)	
		ウ				(見込)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) ・小学校児童 ・中学生徒	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
		指標数値					
		名称	単位	29年度	30年度	31年度	
		ア 小学校児童数	人	3,176	3,187	3,144 (見込)	
		イ 中学生徒数	人	1,376	1,362	1,365 (見込)	
		ウ				(見込)	
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 地域社会の中で大人や異なる学年同士が交流し、積極的に様々な生活・社会・自然体験を経験してもらおう。	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
		指標数値					
		名称	単位	29年度	30年度	31年度	
		ア 講演・講座実施回数(小学校)	回	目標	80	50	30
				実績	39	16	
		イ 講演・講座実施回数(中学校)	回	目標	25	30	50
				実績	36	55	
		ウ 生活・社会・自然体験をした児童出席率	%	目標	100.0	100.0	100.0
				実績	100.0	99.0	
		エ 生活・社会・自然体験をした生徒出席率	%	目標	100.0	100.0	100.0
実績	97.0			98.0			
オ		目標					
		実績					

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	156	693	318	735	735	735
		合計(A)	156	693	318	735	735	735
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	446	402	367	389			
トータルコスト(A)+(B)	602	1,095	685	1,124	735	735		

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
平成14年度から創設された「総合的な学習の時間」で、自ら課題を設けて行う学習や将来の行き方を考える学習の一環として行われた。	児童生徒数は年々増加している。学習指導要領の改訂で「総合的な学習の時間」の授業時数はかなり削減される。	児童生徒は地域を知り、地域の人は学校を知ることができたという声を聞く。(児童及び講師から) 町議会議員からは、もっと地域の方や専門的な技術を持つ指導者を活用して児童の体験の場を増やしてほしいという意見がある。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	児童・生徒自らが課題を設けて行う学習や将来の生き方を考える学習を行うことで、心身ともに健全な児童生徒の育成の推進につながる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	文科省による学習指導要領で決められていることを行っているの で、町が行うことが適切である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	文科省の学習指導要領により年間の授業時間数が決まっている。 さまざまな講師を招聘し、学習内容の充実を図っているため成果向上の余地は無い。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	文科省による学習指導要領で決められていることなので、廃止・休止はできない。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	平成21年度から講師や団体への報酬額を半額に減額する等、コスト削減は行っておりこれ以上の削減は難しい。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

学習指導要領に基づき、各学校が地域・学校や児童・生徒の実態等にに応じて、創意工夫を活かした生活・社会・自然体験を児童生徒に経験させている。 地域の人との交流が増え、子どもたちに自ら課題を見付け自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力が育まれてきている。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

学級編成の人数を転記します。
他の事務事業評価表も同じ